



2021 年度 7 月号 尚徳福祉会生麦保育園

雨からおひさまに季節の主役が交代していく 7 月。暑い日が続きますが、子どもたちは、園庭に下りてカメのみどりちゃんや、ぞうぐみが育てている枝豆の成長を見たり、シャボン玉を追いかけて飛び跳ねたり、全身を使って汗をいっぱいかきながら遊ぶ姿が見られます。水分補給や、室内に温度調節などにも留意しつつ、この季節ならではの発見をしていきたいと思ひます。

制作



あじさい カタツムリ



七夕



園庭に咲いているあじさいを園長先生にもらって、触ってみたり、においをかいでみたりした子どもたち。本物を目の前に制作スタート。丸く切った画用紙に、絵の具を付けたスポンジでスタンプすると、保育者の手を添えて慎重にする子や、自分でできる！とスポンジをぎゅっと握る子、「ギューギュー」と声を出しながらスタンプする子と様々な姿がありました。自分の順番が終わっても友だちが行っている様子をじーっと見つめて応援する子もいました。カタツムリに子どもたちの写真を貼ると「〇〇ちゃん」と指をさして眺めています。

保育者が準備していると「なにをするの？」「やりたいな」と自然と子どもたちが集まってきました。お皿に用意された黄色の絵の具を、少し指先につけてツツツとリズムカルにスタンプする子や、たっぷりすくってギュウーッと流れ星のようにスタンプする子、個性あふれるお星さまが夜空に輝いています。短冊の記入ありがとうございました。

子どもたちの願いが叶いますように☆



自分でやってみよう



「お外へ行こう」の声掛けに靴下や、靴を履いてみようとしたり、食事も「自分で！」とスプーンを持ちすくおうとしたりする姿が多く見られるようになりました。思い通りにできなくて、「あー」と大きな声や涙が出ることもありますが、お友だちの姿を見て再チャレンジをしたり、保育者に「やって」と手伝いを求めたり、身の回りのことに興味をもち、自分でやりたい気持ちが強くなっています。



時間にゆとりをもって、近くや、少し離れたところから、いつでもお手伝いできるよう見守っています。一人一人が真剣に取り組んでいる姿に「上手にできたね」など子どもの気持ちを認め寄り添う声を掛けて、やってみようとする気持ちを応援していきたいですね。



いつもお洗濯ありがとうございます。引き続き、オムツ、衣服の補充、記名おねがいします。